

第5章 ESD情報を共有する “しくみ”

ESD 情報を共有する “しくみ” づくり……………	112
情報共有プロジェクトチームの歩み……………	113
ESD-J ホームページの便利な活用法……………	114

情報共有プロジェクト

ESD 情報を共有する “しくみ” づくり

情報共有プロジェクトチーム・リーダー 清水 悟

情報共有プロジェクトチーム（情報PT）では、幅広い対象へ多様な情報を受発信（共有）していくために、以下の媒体による事業を展開してきた。

■ホームページの運営

2003年10月の開設以来、「わかりやすい」「使いやすい」サイトをめざして整備をすすめてきた。以下の2点の役割がある。

- ① 国連や政府の動き、イベント情報、各プロジェクトチームの活動情報など、会員がESDにかかわる最新の情報をキャッチする場。
- ② インターネットをとおしてはじめて知る人たちが期待と共感をもってESDに接近できるような基本情報の提供。

ESDについての理解を深めたり、会議やセミナーでESDを説明するさいの参考資料も揃っている。もちろん、各地の実践事例や、ときどきのイベント情報も。みなさんの活動に役立てていただくための活用法を114ページに掲載したので、ぜひご覧いただきたい。

■メーリングリストの運営

正会員、準会員がリアルタイムで発言したり、やりとりするための場として、メーリングリストを運営している。会員が各地で行っているESDにつながる活動の紹介をはじめ、ESDの国内政策について民間が政府になにを提言していくべきか、ESD-Jがなにをすべきかなど、電子上で活発な情報提供・提言が行われている。

たとえば、郵政民営化が争点となった2005年9月の総選挙にあたって、ESD-Jは各政党への緊急アピールを発信した（40ページ参照）。その発端は、各政党のマニフェストに「ESD」はおろか「持続可能性」といった言葉も盛り込まれていないことに危機意識をもった会員が、メーリングリストへ投稿し、各政党への働きかけを提言したことであった。解散総選挙というあわただしい日程のなかで、組織的な動きがとれた理由の一つには、メーリングリストを活用しスピー

ディーに会員の賛同を得られた点が挙げられる。

■機関紙「ESDレポート」の発行

2004年9月に創刊した。基本は8ページで、季刊（年4回）発行とし、2005年3月で7冊を数えた。特集では、概念が先にたっつてしまいがちなESDの内実を、地域の具体実践のなかにみる試みを続けてきた（「地域発ESD」：4ページからの座談会や再録記事も参照）。また、各プロジェクトチームからの情報提供、会員からのメッセージ、用語解説・書籍紹介、など広く一般の人びとにも読んでもらえる内容となっている。

あわせて、「ESDレポートを読む会」を各地で実施してきた。なかには、大学の公開講座に組み込んで実施する（鹿児島大学）などの動きがでている。

■年間活動報告書の発行

年1回発行。ESD-Jの活動報告書ではあるが、関係者のみならず、ESDの入門書として幅広い読者に使ってもらえるような編集を心がけている。

2003年度は、環境教育、開発教育、ジェンダー教育、人権教育、平和教育と、それぞれの教育分野からのESDへの接近について考察する特集。2004年度は、読者からのQ&Aも盛り込んだESDの具体事例の紹介をはじめ、ESD基本用語集、国際実施計画案の読みどころ、などを特集している。そして、2005年度の本報告書では、ESDの指標づくりへ向けての座談会や、いよいよ策定された日本実施計画、国際実施計画をコメント・評価する記事などを盛り込んだ。

以上、4つの媒体を柱としつつ、入門用冊子『ESDがわかる!』の発行など、スポット的な情報発信も含めて、情報共有の基盤を整備してきた。ESDをいかに「わかりやすく」発信し、一般の人にとっても身近な言葉とすることができるか。これまでの取組みを継続しつつ、今後は、ホームページを中心に会員参加型のコンテンツづくりを徹底し、各地の取組みを後押しするような情報の交流をすすめた。

情報共有プロジェクトチームの歩み

2003年	1月	ESD-J 設立準備ミーリングリストスタート
	6月	ESD-J 設立に伴い ESD-J ミーリングリストに移行 ウェブサイトを（社）日本環境教育フォーラムのなかに開設
2004年	3月	ESD-J カラーパンフレット作成 「ESD-J 年間活動報告書 2003」発行 ウェブサイトを新規開設
	9月	「ESD レポート」創刊号発行
	10月	ミーリングリストを会員限定に移行
	12月	「ESD レポート」2号発行
2005年	3月	「ESD レポート」3号発行 「ESD-J 年間活動報告書 2004」発行 ウェブサイトを大幅リニューアル p114
	6月	「ESD レポート」4号発行
	9月	「ESD レポート」5号発行
	12月	「ESD レポート」6号発行 ESD キックオフブック「ESD がわかる！」発行
	3月	「ESD レポート」7号発行
2006年	3月	「ESD-J 年間活動報告書 2005」発行



ESD-J ホームページの便利な活用法

ESD-J のホームページをご紹介します。

はじめての方にとっても、「へー、ESD ってそんな取り組みなんだ。大事なことよね」と共感を呼ぶようなわかりやすいサイトであると同時に、会員の方にとっても ESD-J や ESD の 10 年にかかわるニュースが的確に伝わるように、日々更新を続けています。

では、こんなときにこう活用してほしい！という便利な使い方をナビゲートしましょう。（高坂まゆか）

ESD-J のウェブサイトアドレス

<http://www.esd-j.org/>

■ ESD-J にかかわる最新のニュースを知りたいとき

トップページには、事務局から発信される、最新のニュースが掲載されています。

The screenshot shows the ESD-J website homepage. At the top, there is a header with the ESD-J logo and a navigation menu. Below the header, there are several sections: a main content area with a featured article, a sidebar with a search bar and a list of categories, and a footer with contact information. Three callout boxes provide detailed information about the website's features:

- 「ESD とは」**
ESD の 10 年に至るプロセスや、ESD の概念についてコンパクトに紹介しています。2002 年第 57 回国連総会決議など、関連文書へのリンクも充実しています。
- 「事例にみる ESD」**
ESD レポートで紹介した事例、地域ミーティングのレポートなどがご覧いただけます。
- 「ESD レポート」第 7 号発行**
昨年 9 月、ESD の 10 年に向け国際実施計画が採択され、ようやく日本政府も ESD の推進に向けて動き始めました。ESD-J では、この動きを加速させるべく、政府・地域・NPO・海外の ESD の取り組み状況を共有・交流する場として「ESD-J 全国ミーティング」を 2006 年 2 月 5 日（日）に開催。定員 120 名に対し、ESD-J 会員および行政、企業、教育関係者などの関係者約 180 名が参加し、ESD にかかわる人・関心をもった方へ、ESD-J 全国ミーティングの模様や、ESD の推進に向けた取り組みの紹介など、文部科学省の活動に役立つ情報をお届けします。ダウンロードはこちらから

Additional callout boxes highlight the sidebar features:

- 「ESD とは？」** (ESD What is it?)
- 「事例にみる ESD」** (Cases of ESD)
- 「ESD レポート」第 7 号発行** (ESD Report No. 7 Issued)
- 「ESD-J がスタッフを募集します！」** (ESD-J is recruiting staff!)
- 「過去の記事」** (Past articles) with a list of categories: 全ニュースの一覧 (更新情報), イベント案内, イベント報告, 地域をつなぐ (地域 PT), 政府に働きかける (政策提言 PT), 世界をつなぐ (国際 PT), 情報を届ける (情報共有 PT), ESD 関連資料, メディアに登場, ESD-J へのメッセージ.



■ はじめての方に「ESD-JやESDの10年」を教えてあげる とき

メニューバーの「団体概要」から「ESD-Jの沿革」を選択します。

2001年4月のヨハネスブルグサミット準備会合から2005年3月ESDの10年キックオフまでの4年間のESD-Jおよび、ESDに関わる国内外の動きが一覧できます。

※またESD-JやESDの10年のプレゼンテーション資料もダウンロードできます（117ページ参照）。

ホーム 団体概要 会員ネットワーク 入会のお誘い サイトマップ サイト内検索

ESDとは？ 事例にみるESD ESDキーワード よくある質問 発行物ダウンロード

ホーム > 団体紹介

団体紹介

ESD-JはESDを推進していくためのネットワーク組織です。

「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J)は、「ESDの10年」を遂げるために、持続可能なため、2003年6月21日に発足したネットワーク組織です。2004年12月10日に特定非営利活動法人とな

ESD-Jは、環境・開発・人権・平和・ジェンダーなど、様々な社会的課題にたずさわるNGO・NPOや個人のかたちを統合し、それを実現していくことを目的としています。そして政府や自治体、企業、教育機関と連携します。

ESD-Jについて

- 設立趣意書
- ESD-Jの活動

- 情報収集・提供
- 関係および連携
- 調査研究・普及
- ESD推進ネットワーク
- 国際関係・主体性
- 地域行政との連携

- ESD-Jの沿革

ホーム > 団体紹介 > ESD-Jの沿革

ESD-Jの沿革

	ESD-Jの動き (設立準備からESDの10年開始まで)	国連・日本政府の動き
2001年4月		2001年4月～5月: 第1回ヨハネスブルグサミット準備会合(ニューヨーク)
2001年11月	2001年11月12日: ESD-J発足 「持続可能な開発に関する世界首脳会議」(通称ヨハネスブルグサミット)に向け、政策提言や情報発信を行っていくネットワークNGOとして「ヨハネスブルグサミット提言フォーラム(J.F.F)」設立 詳細はこちら(FFIIのウェブサイト)	
2002年3月	2002年3月19日: ESD-J設立 ヨハネスブルグサミットに向けた第8回意見交換会(対政府交渉)の場で、J.F.F.から政府に対し「2005年から2014年を「国連持続可能な開発のための教育の10年(ESDの10年)」とすることが提言された	2002年3月下旬～4月上旬: 第3回ヨハネスブルグサミット準備会合(ニューヨーク)において「2005年から2014年を「国連持続可能な開発のための教育の10年(ESDの10年)」とする」ことが、日本政府によって提案され、5月に発行された世界実施計画の下書きにその文言が盛り込まれた
2002年6月	2002年6月2日、5日: ESD-J定章	2002年6月:

■ 各地の ESD 実践や ESD-J 会員の活動を知りたいとき

① メニューバーの「事例にみる ESD」を選択します。

ホーム > 事例にみる ESD > 地域発 ESD > 【掲載】「総合的な学習の時間」を地域でサポート 子どもと大人の学び合いが未来を創る

【掲載】「総合的な学習の時間」を地域でサポート 子どもと大人の学び合いが未来を創る

■ 区教委の委託で42小中学校の授業に協力

当会は、およそ20年の歴史をもつ福祉団体のボランティア学習部門を分離し、発展させる形で、ボランティア国際年の2008年に発足しました。「総合的な学習の時間(以下、総合学習)」サポートについては、2002年の本邦実施前に行った区内小中学校へのアンケートをもとに、学校と地域をつなぐサポート団体の必要性を訴えた結果、区からの委託を受け事務局を担うことになりました。昨年度1年間では、小中学校あわせて42校のコーディネートをし、のべ人数で講師として61名、サポートスタッフは216名が授業に協力しています。

依頼のあった学校には必ず事前に様子、学習内容や授業の進め方などの打合わせをしつつ、福祉のプログラムをメインに、国際理解文化活動などの分野をつなぐサポートをしています。



『ESD レポート』で紹介された、国内・海外の「地域発 ESD」事例などを一覧できます。

② メニューバーの「会員ネットワーク」を選択します。

ホーム > 会員ネットワーク

会員ネットワーク

日本全国各地に広がるESD-J会員ネットワーク。
このコーナーでは、ESD-J団体正会員や賛助会員の活動内容やモットー、連絡先を紹介します。同じ地域でESD-Jに取り組むあの団体や、同じ関心を持って活動するこの団体とつながれば、あなたの活動もぐっと深まり広がるかもしれません。
ESD-JネットワークをあなたのESD-Jにぜひ活用してください。

※団体正会員94団体、個人正会員107名、団体準会員10団体、個人準会員126名、賛助会員4団体(2006年3月31日現在)

[団体紹介](#) ... 団体紹介掲載
[実践事例](#) ... 実践事例掲載

団体正会員

- 持続可能な開発のための教育の10年臨農学園大学学生委員会(ESD-R)
[団体紹介](#)
- NPO法人いばり小豆島 [団体紹介](#)

地域ブロック別/カテゴリー

- ・北海道・東北
- ・関東・甲信越
- ・北陸・中部・近畿
- ・九州・沖縄
- ・中国・四国

[RSS](#)

「会員ネットワーク」
ESD-J 団体正会員と賛助会員が一覧できます。それぞれの団体が ESD にどのように取り組んでいるのかわかる「実践事例」も、随時追加していきます。



■ ESD-Jの発行物をとりよせたいとき

メニューバーの「発行物ダウンロード」でESD-Jがこれまで発行してきた、以下の発行物を閲覧・ダウンロードできます。

▼ ESD ができる!

ESDを知り、考え、広げていくためのツールとしてご活用いただけます。ESD・ESDの10年・ESD-Jをわかりやすく紹介する内容です。

▼ ESD レポート

国内で活動するNGO・NPOや個人向けに、ESDをめぐる国連機関や政府の動き、国内地域での実践事例などをテーマごとにまとめたレポート。年4回の発行です。

▼ プレゼンテーション資料

ESD-JやESDの10年をわかりやすく説明するパワーポイント資料です。

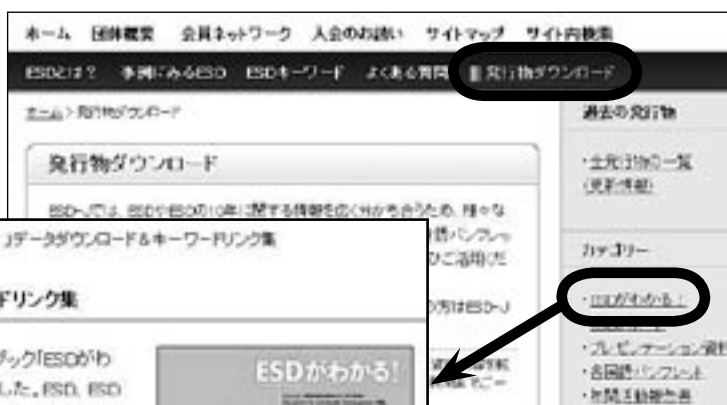
▼ 各国語パンフレット

日本の動きを海外へ発信し、国際的な「ESDの10年」へ向けたネットワークの構築を呼びかけるためのパンフレットを、英・中・韓国語で作成しています。

▼ 年間活動報告書

ESD-Jがこれまで取り組んできた政策提言、情報提供、ネットワーク推進、海外NGOとの交流といった活動に関する報告のほか、ESDをとりまく社会の動きに関する概説や、関連する主要国際文書などの資料を掲載しています。

「なるほど、ESDの10年ってこういうことなんだ!」とご好評の冊子、「ESDができる!」。ダウンロードページには、「キーワードリンク集」を盛り込み、冊子のなかのキーワードを、詳しく知りたい方が、関連サイトへ簡単にアクセスすることができるようになりました。



はじめての人にわかりやすく、会員に便利で役立つサイトをめざし、今後一層の充実を図ってゆきます。

